



入社のおもいで「盲点の窓」

いつもお世話になって
おります。大西 肇(お
おにしはじめ)です。

4月になりましたね! 4
月という入学、入社。新しいことが始
まる時ですね! 弊社でも1名新入社員が
入って来ます。

今までの人生経験を糧に新たな気持ち
で頑張してほしいですね!

私の社会人1年目は前職である大手印
刷会社。定期採用があり、平成13年は
約40名が入社。新入社員研修が終わり
に近づき、徐々にどこに配属されるか、
という話が飛ぶようになっていた。

「去年入った先輩はみんな営業配属
だった」

「やっぱりそうなるよね。」

「えーあたしも営業なんかな」

そんな会話の中で私「自分は営業に行
きたいけど」とポツリ。

「...そうなんだ。へえ。そんな感じに見
えないけど。」あんまり周りの反応は
良くない。でも当時は営業に行くもの
となぜか信じていた。そして不安もま

たくない中で配属発表の日。「〇〇君、
営業〇本部〇部〇課」

名前と配属先が読み上げられる。自分
の名前が出てこない。あれ?

「営業は以上です」「え...ほんま?」

そして他の部署もどんどん名前が出る
中でいよいよ最後。

「大西 肇君。総務部 人事グループ」

総務? 人事? 言われると思っていた
なかった部署になり、頭が真っ白。その

場に呆然と立ち尽くす。発表が終わった
後の同期との会話「大西君は総務だと思

ったよ!」「え、そうなの?」「やっぱり、
て感じかな」みんなに納得顔をされた。

「ジョハリの窓」でいうところの「盲点の
窓」。自己分析というものがさっぱりで

きていない頃のお話しでした。続きは
どこかで書きますね!

今月のお題
this month title

入社・入学の思い出

入社のおもいで

いつもありがとうございます。

45年前、高校3年の卒業文集の編集委員の
とき、皆んなの原稿を集め、印刷会社で打
合せをし、校正に通いました。初めての印刷
体験でしたが、残念ながら我社ではありま
せんでした。

縁あって我社に入社。数年間、営業を主に、
デザイン、製版、印刷、製本と何でもさせて
もらいました。版下は、写植とコールドタイ
プの切り貼り、フィルムに撮ると影が出て、
筆を使ってオペック作業。大
きな包装紙や、薄い伝票の紙
揃えなど大変勉強になり、印
刷営業として育てていただき
ました。デジタル化の今では
考えられない時代でした。



●営業所長 川口洋志

社会人としての第一歩(入社)

まずは、車の免許と喜び勇んで、自動車教習所へ!
ところが、県外へ出る人が優先で、私のような地元
就職者は、後回し。とうとう4月1日に間に合わず
なんと4月8日まで、入社を延ばしていただいた。
結局、それでも間に合わず、数日間は、自転車通勤。
(念のためですが、自動車教習はストレート合格!補
修なし!)会社が、学校の近くで尚且つ自転車とい
う事もあり、学生気分が抜けないうまの入社だった
ように思います。

入社時は、期待と不安!優しく面倒見のよい先輩方
のおかげで、会社は楽しい所となり、
旅行・野球チームあり、こまめな
飲み会あり!

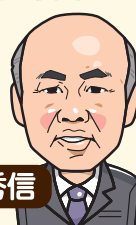
営業になって、最初の失敗は、電話!
「アーモンドイキバ様より...」
みんな知らない!? 焦りました!
正解は、「あおも市場」でした。



●営業主任 小川 茂

就職

商業科から地元の石灰工場に就職し不安とわ
くわく感で出社しました。同期は3人他は
おっさんだらけ。商業科からの就職で最初は
職場の先輩から機械、電気のことを聞かれて
もさっぱり分からず、道具を取ってきてくれ
と頼まれてもそれってなんですか?って聞く
有様でした。漠然と就職したわりには、月日
が経つに連れて機械のことは見て、聞いて覚
えましたが、電気は最後まで覚えられません
でした。前職を辞めた時は失
われた時間と思ったことも有
りましたが、メカについてはそ
こそ覚えていたので今の日常生
活でも役に立つ事が多々あり
ます。



●営業 川内秀信

入社のおもいで。

はじめて社会人になった時は、いかにスーツに着ら
れたような格好で研修を受けていました。社会人となっ
て全て新しい世界!「人」も「住むところ」も「仕事」もで
ても緊張していました。

中学高校と剣道をやっていてその時の先生に「基本が
身につくまでは最低、三年かかる。それまでは、なにが
あってもケツをわるな。」と言われ、仕事もそのつもりで
取り組んだことを思い出します。

●営業 西田利宏



直近の入学式でも14年前

入学式。何も覚えていない。困った。そこで大阪の実家に電話する
と母が出る。

「もしもし、明だけど」

「この前お送ってくれてありがとう。最近(以下近況が続く)」
しばらく聞いて疲れてきたので、本題を切り出す。

「で、入学式について何か覚えてない?」

「どんなやつだったかな。あ、1個覚えてるわ」「なにになに?」

「あんたは異様に大きかったから、いつもすぐ分かったわ」

「(それは入学式に限った話でもない気が...)他には?」

「せやなあ...、なんか思い出したらLINEするわ」

以降、連絡なし。自分も記憶ないが、ちょっと悲しい。

ただ、4人兄弟全員(の式に必ず親が来てくれ
たことを思うと(日程被ることもあった)今
更ながら感謝の気持ちでいっぱいになった。

●営業 横内 明

